

鹿児島県にあるしらゆきこども園様では、コロナの影響でなかなか実現できなかつた職員間のレクリエーションを先月行つたそうです。



涙が出ており椅子から転げる程、笑いに溢れていました！

「外で集まつての食事はまだ心配があるかな」「クラス別ではなく混合チームの方が楽ししそうだけど、不安に思いう人もいるかな」など、幹事の先生を中心にコロナ禍におけるレクリエーションについて色々な面から検討し：結局、皆が安心して参加できるよう、0・1歳チーム、2歳チーム、3・4・5歳チームなど日頃一緒に働いているチームで園内の各部屋に分かれて色々な面から検討し：結

れ、オンラインで繋ぎながら食事をしたりクイズ大会をしたりと、本当に久しぶりの職員間の交流の時間は、大盛り上がりだったそうです。コロナ禍で不安やストレス、忙しさなどもある中で、こうした職員間の場を皆で大事にできることはすごいことだと感じました。

終わった後の感想では、「幹事が楽しそうだったから、こっちもすごく楽しかった！」という声が多くあつたようで、やっぱり楽しさは伝染するのかもしれません。子どもたちを取り巻く環境としても、笑顔で楽しんでいる身近な先生たちの存在は、とても周りのためにも楽しく働くことを大事にしたいと改めて感じました。



こうした取組みによってますます強い絆が！

竹取新聞

株式会社 カグヤ
東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング
2号館10階



第134版

理念と実践で 絆を結びます

手入れの大切さ



発達が分かる環境づくりが良い保育環境をつくります。

「ことよりも日頃の『手入れ』や『掃除』をすることが重要であること、手入れや掃除によって物事も磨かれていくということを先生方から教えて頂いています。

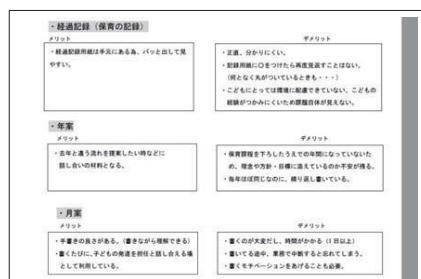
園長の島袋先生は、「職員が保育について楽しそうに議論するような姿を見ることが出来るのは、とても嬉しいですね！」と仰います。そんな職員同士の話し合いの「場」を島袋先生がしっかりと設けているからこそ姿でもあるように思います。

また、話し合う中で、重複して各書類に書かれていたもの削減したりと、皆で心を込めて「掃除」をしている時の充実感のようなものを、お聞きしている中で感じました。この数か月の取り組みの陰で、「慣れ親しんだ保育に対する（小さなことであつても）疑問を持つように、皆が変わってきた」と仰ります。

改めて、物事は「作り出す」ことよりも日頃の「手入れ」や「掃除」をすることが重要であること、手入れや掃除によって物事も磨かれていくということを先生方から教えて頂いています。



園内研修の持ち方を模索できないか「一円対話」で試行錯誤中！



先生方で話し合いながら自分たちの「ツール」を手入れして磨いていらっしゃいました。

新型コロナウイルス感染者数増加に伴い、園内研修や職員会議に全員が集まるなどを制限しているというお話を園の先生方からお聞きすることがあります。

そこで、カグヤでは「ズーム一円対話」の試行錯誤を行っています。普段園で「一円対話」を行なっている先生方に「ズーム一円対話」にご参加頂き、園内研修の持ち方を模索できないかと考えています。

ご参加頂いた先生方は、園のある地域や役職も異なりますが、普段から「一円対話」を実践している園のため、「初

めでだから緊張します！」いう声の中にも、同じルートを飛び越え、今の時期、そこ、学びの場を新たに創っていく大切さと新たな実施に可能性を感じます。

学び合いの場を創る

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一主義」の理念のもとに活動しているカグヤグループの出来事・内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てれば始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようよろしくお願いいたします。

カグヤグループブログも／
毎日元気に配信中！／

カグヤウェブサイト



www.caguya.co.jp



CAGUYA COMPANY NEWS

カグヤニュース

カグヤでは、それぞれが別々の場所にいても、お互いの気持ちや様子をクルーアン士はもちろん、皆様とも共有できるよう、毎日、ホームページでブログ配信しています。ここではその一部を抜粋して、日々の実践をご紹介いたします。

今日は、前日の晩から炭火で沸かしたお湯に沢山の菊花を入れ煮出し、当日、お客様がお見えになる直後、重陽の節供が近いこともあり、ウエルカムドリンクでは「菊花茶」をご用意しました。あまりなじみのない菊花茶ですが、こちらは乾燥させた菊の花をお茶にしたものです。日本では食用できる菊というと、だいたいお刺身のつまみに添えられるものや、おひたしなどを思い出しますが、中国では菊花は古くから不老延命長寿に効く生薬として親しまれ、お茶として飲まれたり、他にも菊花酒や漢方薬としても利用されているとか。

先日、「福岡県ブロックチーンフォーラム」の一環で、福岡県飯塚市にある築120年の古民家「聴福庵」にて、ゲストをお迎えした昼食懇談会が行われました。

前に氷で冷やし出しあしたところ、皆さん初めて口にするそのお茶に、「おいしい!」「120歳くらいまで生きられそう!」などと喜んでいただけた様子でした。お味はどうもろこしの味わいにも似ていて、きれいな見た目と優しい菊の香りに気分も癒されますので、なんだかクセになります。

そして、気になる効能ですが、疲れ目やドライアイを癒したりする他、利尿作用、抗菌作用、解熱作用、さらには、身体にこもった熱を冷ます。そうで、夏の疲れが出るこの時期には効果抜群の飲み物ですね! 皆さんもよかつたら、「重陽の節供」にあわせて長寿を願いながら、菊花茶や菊酒など味わってみてはいかがでしょうか? 重陽の節句など年中行事についてはクルーブログミマモルジユメールマガジンをご参照下さい。



疲れ目にも見た目にも優しい菊花茶。食用菊が甘みがありおすすめです。



重陽の節句はこちらから



その他の室礼はこちらから



菊花茶は炭火でじっくり煮出しています。



【後の雛(のちひな)】半年ぶりの雛人形にうっとりです!

編集後記

今号裏面でも「重陽の節供」についてご紹介していますが、この時期に雛人形を飾る「後の雛」という風習があるとのことで、今年は聴福庵でも沢山の菊と共に、雛人形を飾って室礼を行いました!

しかし明治以降、現代のような人間中心の都市型の生活様式になること

外に出てもあちこちに神様がありましたが、八百万の神々といつてすべてを自然の畏怖の化身として畏敬の念で接していました。

むかしの人たちはその畏怖心が失われないように自然の近くに住み、自然と一緒に暮らしてきました。家の中のあちこちに神様があり、

人類はその自然への畏怖のことを感じておそれおののき反省して謙虚を取り戻していきます。

自然への畏怖心が自然に敵対しないようになります。自然への畏怖心が自然に敵対しないようになります。私たち人間はなんでも思い通りにできると勘違いして傲慢になつてく

るものです。私たち人間もまた地球の一部として地球に活かされています。

傲慢な自分たちを見つめ、古来から続く大切な自然への畏怖敬畏の心をもつて、そしてその暮らしを子どもたちと共に伝承していきたいと思います。

恐怖と畏敬

一期一会庵

とで人間はその畏怖をすぐに忘れてしまうようになりました。

それを忘れるとき、人間が傲慢になつているということでしょう。

正しく怖がり続けることは、謙虚に

さを維持していくのにとても大切で

あるように思います。

この畏怖と敬畏という二つは、私たちが決して忘れてはならない自然の摂理への接し方であるように思

ます。

私たち人間もまた地球の一部として地球に活かされています。

傲慢な自分たちを見つめ、古来から

続く大切な自然への畏怖敬畏の心

をもつて、そしてその暮らしを子どもたちと共に伝承していきたいと思います。



カグヤは「子ども第一義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます

本社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階

カグヤウェブセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階

フリーダイヤル 0120-917-389

URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp

